

表 治水対策案と評価の内容

治水対策案と実施内容の概要			対 策 案									
			No.1 庄原ダム+河道改修案		No.2 遊水地（調節池）+河道改修案		No.3 放水路（捷水路）+河道改修案		No.4 河道の掘削+引堤（河道拡幅）案		No.5 堤防のかさ上げ案	
			考察	評価	考察	評価	考察	評価	考察	評価	考察	評価
評価軸と評価の考え方	1 安全度 (流量低減、水位低下、資産被害抑制、人身被害抑制の観点で評価)	河川整備計画レベルの目標に対し安全を確保できるか										
		目標を上回る洪水等が発生した場合にどのような状態となるか										
		段階的にどのように安全度が確保されていくか										
		どの範囲でどのような効果が確保されていくか										
	2 コスト (必要に応じ、直接的な費用だけでなく、関連して必要となる費用についても明らかにして評価する)	完成までに要する費用										
		維持管理に要する費用										
		その他の費用										
		合計										
	3 実現性	土地所有者等の協力の見通し										
		その他の関係者との調整の見通し										
		法制度上の観点から実現性が見通し										
		技術上の観点から実現性が見通し										
評価軸	4 持続性	将来にわたって持続可能といえるか										
	5 柔軟性	地球温暖化に伴う気候変化や社会環境の変化など将来の不確実性に対する柔軟性										
	6 地域社会への影響	事業地及びその周辺への影響はどの程度か										
		地域振興に対してどのような効果があるか										
		地域間の利害の衡平への配慮がなされているか										
	7 環境への影響	水環境に対してどのような影響があるか										
		生物の多様性の確保及び流域の自然環境全体にどのような影響があるか										
土砂流動がどう変化し、下流河川・海岸にどのように影響するか												
景観、人と自然との豊かな触れ合いにどのような影響があるか その他（特筆される環境影響）												

凡例：青字は効果が見られる事項を、赤字は悪影響が見られる事項を示す。